

支援内容の一例を紹介します。

●どんなことをしてくれるの？

話し合いやお子様の様子から、支援内容や時間を考えます。約週1時間～月1時間程度、児童の様子を見ながら通級指導教室で支援を行ったり教室での支援を行ったりします。

通級指導教室の支援は、マンツーマンに近い形で、児童の理解度や進度にあわせて教科学習を進めたり、生活スキルの練習をしたり、コミュニケーションの力（人間関係づくり・自己表現）をのばしたり…と、その子にあった支援をします。

教室での支援は、教室に指導者が入り、学習理解のお手伝いをします。先生の指示をその子にあわせてわかりやすく伝えたり、聞きとばしてしまったこと・分からないことを伝えたりします。

日々子どもたちが、生き生きと学習に取り組み、学校生活が送れるように支援していきたいと思えます。お家のほうでちょっとした気付きや心配・不安があれば、気軽に学校までご相談ください。一緒に考えていきたいと思えます。

〔具体例〕

○A さんの場合

課題 《集団生活における基本的なルールが分かりにくく、たくさんの人がいると集中するのが難しい》

取り組み

- ・お話サイコロ…サイコロに話すお題が書いてあり、出た目の話をするすることで、話す時のルール(話をするときは、相手の目を見るなど)を確認する。
- ・目のトレーニング…「線を正確に目でなぞる」などのトレーニングをすることで、集中力を高める。
- ・ビーズ通し…小さいビーズに糸を通したり、つかんだりすることで、集中力をつける。

など

○B さんの場合

課題 《学習に前向きではなく、落ち着いて学習課題に取り組むのが苦手》

取り組み

- ・小学生のクロスワード…ゲーム感覚で取り組み自然に「考える環境」をつくる。
- ・漢字ビンゴ…9マスに共通の部首の漢字を書き、ビンゴを行い漢字に親しむ。
- ・漢字イラストゲーム…漢字とイラストが一枚のカードになっており、イラストと合わせて漢字を覚え、学習への自信をつける。

など

..... キ リ ト リ

表面からの続きがあればお書きください。

--